

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	災害時に誰一人取り残さない「リアル HUG（実践的避難所運営訓練）」マニュアルの開発				
研究組織	代表者	所属・職名	短期大学部・准教授	氏名	江原 勝幸
	研究分担者	所属・職名	西豊田学区自治会連合会・副会長	氏名	陰山 正敏
		所属・職名	西豊田学区豊田自治会・会長	氏名	田中 雅美
		所属・職名	西豊田地区民児協・副会長	氏名	三好 敏晴
		所属・職名	西豊田地区社協・会長	氏名	山田 勝久
		所属・職名	西豊田地区社協・企画委員長	氏名	青山 文代
		所属・職名	静岡市社会福祉協議会・主幹	氏名	池谷 雄介
		所属・職名	豊田中学校 PTA・会長	氏名	大橋 学武
		所属・職名	小鹿苑ケアプラン部・ケアマネ	氏名	塩澤 正子
		所属・職名	静岡市障害者協会・会長	氏名	牧野 浴善
所属・職名	災害対応 NPO・MFP・代表	氏名	松山 文紀		
発表者	所属・職名	短期大学部・准教授	氏名	江原 勝幸	

講演題目	災害時に誰一人取り残さない「リアル HUG（実践的避難所運営訓練）」マニュアルの開発
------	--

研究の目的、成果及び今後の展望

内容、方法、参加者など課題の多い地域での防災訓練に対し、研究代表者・分担者は要配慮者支援をテーマとする「リアル HUG（＝実践的避難所運営訓練）」を静岡市駿河区西豊田学区において試験的に実施してきている。このライフラインが使えない想定で参加者が避難所生活を体験し、運営側が対応する訓練を通して、要配慮者に対する福祉スペース設置や個別対応など避難所での要配慮者支援や配慮を学ぶ実践的な訓練である。本研究は、この取り組み実績を発展させ、どの地域でも実践的な避難所運営訓練が実施できるよう「リアル HUG」マニュアルを作成し、このマニュアルを基にした訓練実施により災害時に誰一人取り残さない地域の要配慮者支え合い体制づくりを目指すものである。

4月に研究代表者と一部の研究分担者によるコアメンバー会議を開催し、本年度の研究活動の方針や概要を決定し、研究代表者を含む学区内の地域住民及び防災・保健医療・福祉の専門職で構成される実行委員会による活動展開を行った。コロナ禍の活動になるため訓練時間や参加人数を制限し、今年度の「リアル HUG」は豊田中学校体育館（学区指定避難所）において感染症対応の避難所開設訓練を実施することが決定し、そのための事前研修として済生会病院小児科医による防災講座①と静岡大学総合防災センター教授による防災講座②で感染症対応や地域防災活動について学び、避難所開設ワークショップにおいて豊田中学校避難所レイアウトを作成した。12月11日に、作成した避難所レイアウトを基に、感染症に対応する避難所開設訓練を豊田中学校で実施した（参加者数105人）。3時間の訓練プログラムで、避難所設営、発熱者対応、一般避難者訓練、要配慮者支援、配給訓練など避難所開設訓練を実践し、看護師による演習を交えた避難所の感染症対応実践講座を実施した。

この実行委員会活動を踏まえ、地域防災に関わる自主防災組織等の住民などが地域の防災訓練で活用できる感染症に対応する避難所開設の「リアル HUG」マニュアルを作成し、訓練実施の方法・プログラムや運営体制づくりなど、どの地域でも3ステップで訓練実施ができるマニュアルをまとめることができた。今後はこのマニュアルを使い、西豊田学区内でこの活動を広げていくとともに、コロナ禍であってもできる感染症対応の地域防災訓練の開催促進及び誰一人取り残さないをテーマとする地域の要配慮者支援の実践的避難所運営を広げていく活動を他地域で展開していく。